INAX

TFシリーズ

ガラス棚 FKF-1050GF/C
FKF-1064GF/C
ステンレス棚 FKF-1050SF/C
FKF-1064SF/C

フック FKF-80F/C

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。

●商品図

●安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

注意……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

……「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

⚠注　意

プラスチックプラグで施工しないでください。
※強度不足によりガタついたり脱落する恐れがあります。

ガラス棚、ステンレス棚は、浴室内に設置しないでください。
※からだが棚にあたりケガの恐れがあります。

●施工前のご注意

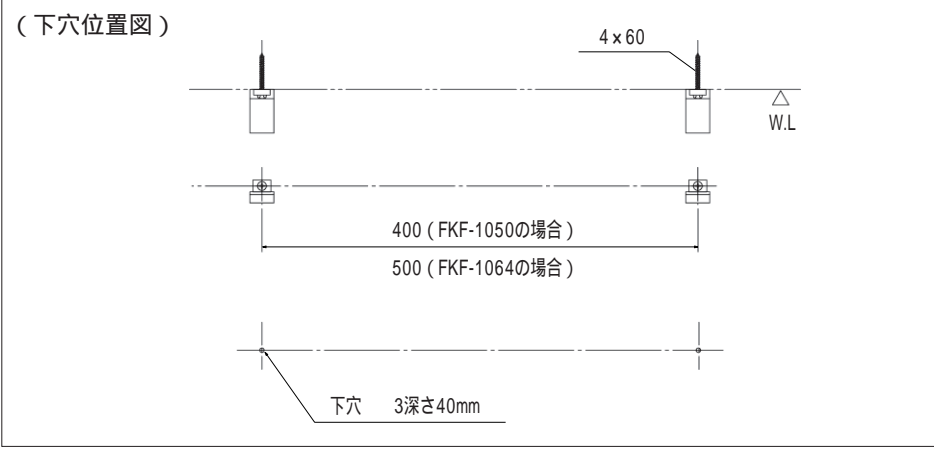
●落下事故防止のため、取付部材や壁面の構造等について以下の取付条件をお守りください。

〔乾式壁の場合〕

- 取付部材としてタッピンねじ（同梱）を使用してください。
- ねじ込み深さが20㎜以上になるように取付木（補強木）を設けてください。
- 石こうボード等のボード張りにはタッピンねじはききません。必ずあらかじめ壁裏に取付木を入れ、ねじ込み深さ（20㎜）を確保してください。
- ボード張りの厚さは12.5㎜以下を想定しています。厚さが12.5㎜を越える場合は越えた分だけ長いタッピンねじを別途用意してください。

〔湿式壁の場合〕

- 取付部材としてAYボルト（別売）を使用してください。
  ※AYボルトを使用した取付け方法詳細は、工事用図面集を参照してください。
- 壁仕上材（モルタル、モルタル＋タイル等）の厚さは、20㎜以下 としてください。
- AYボルトは壁仕上材の厚みによって下表の通り使い分けてください。
- ALC板やコンクリートブロックの中空部にはAYボルトは固定できません。
- 木ずり下地、ラスボード下地への取付けは、乾式壁と同じようにあらかじめ壁裏に取付木を入れ、必要なねじ込み深さを確保してください。

商品	当社AYボルト	壁仕上材の厚さ
棚	AY−21	20mm以下
	AY−22	30mm以下
	なし（別途用意）	30mm以上
フック	AY−22	20mm以下
	なし（別途用意）	20mm以上

株式会社INAX

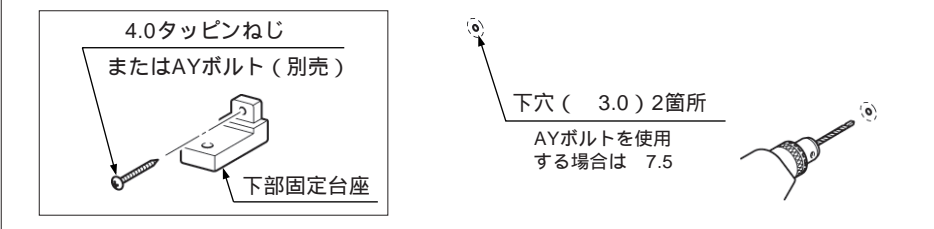
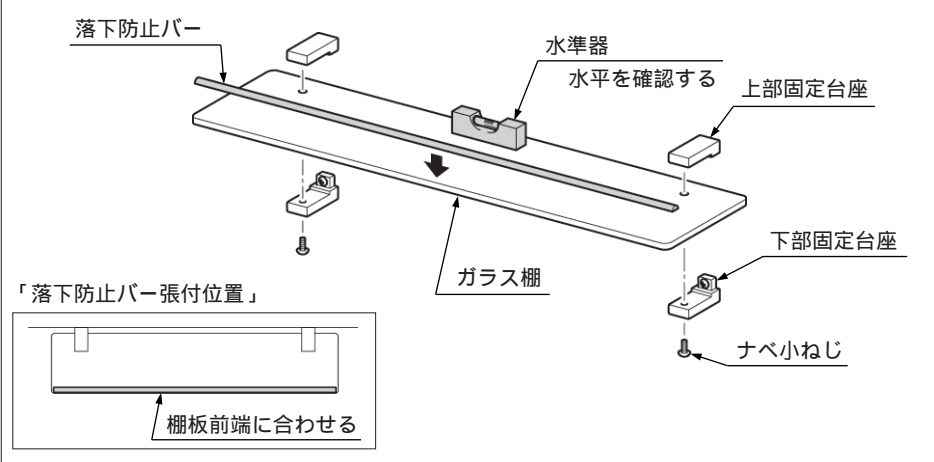
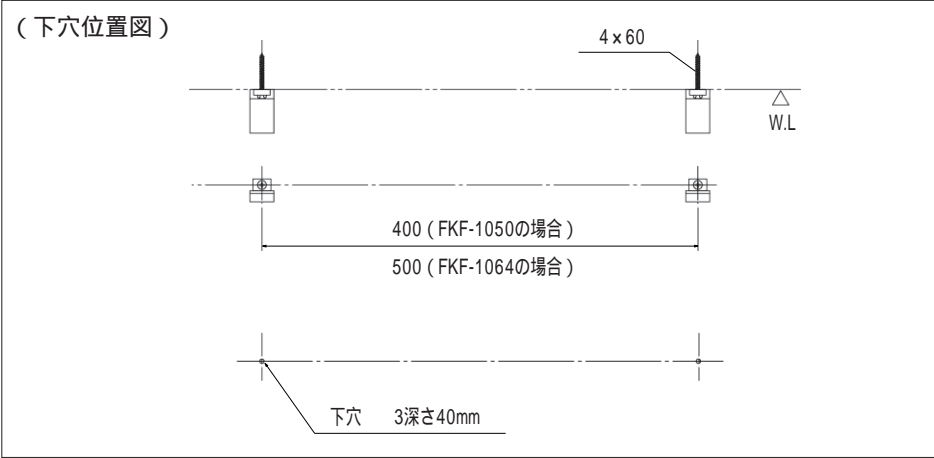
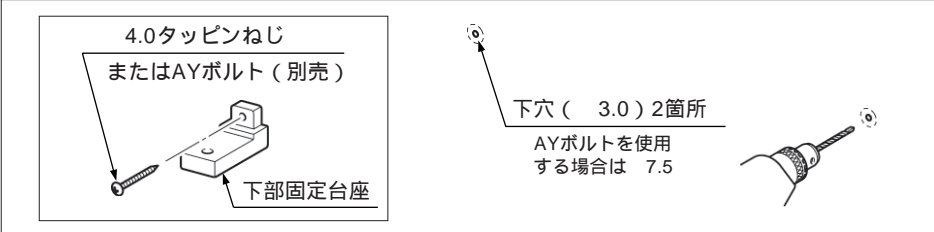
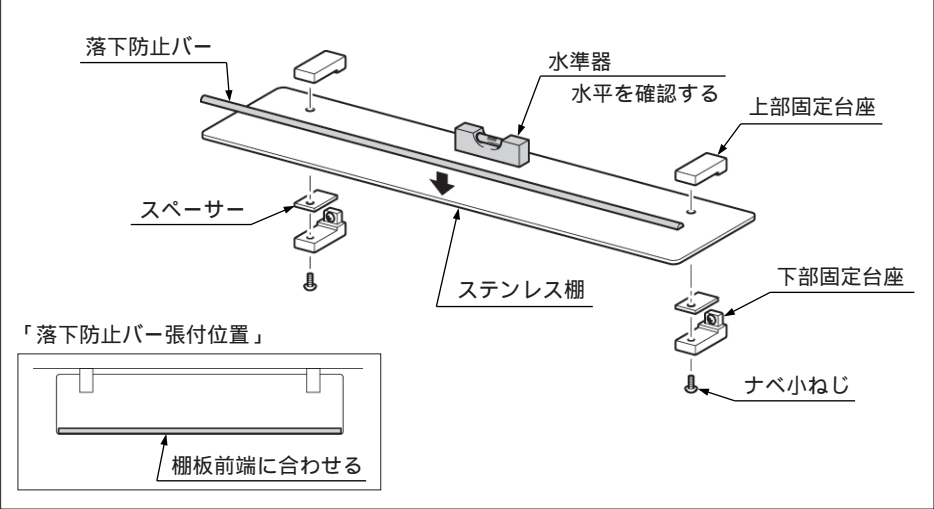
●商品・施工方法についてのお問い合わせ
お客さま相談センター　商品相談窓口
ナビダイヤル TEL 0570-017173

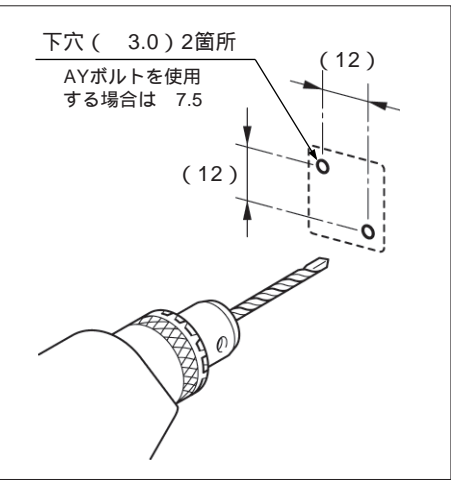
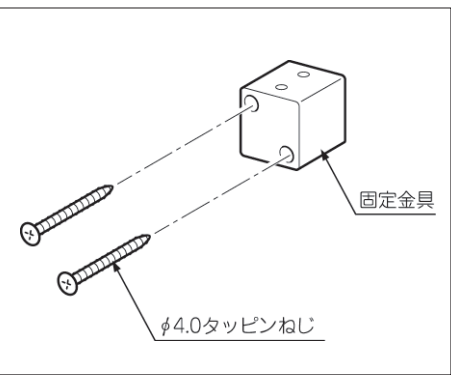
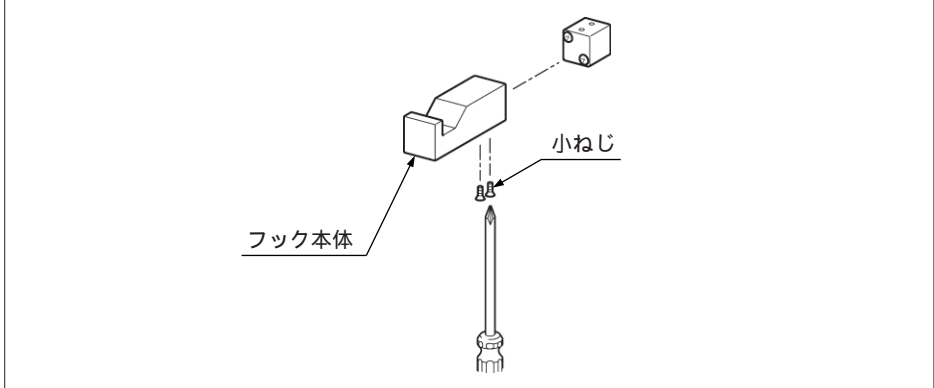
受付時間　平日 9:00〜18:00
土日・祝日10:00〜18:00
（年末年始、夏期休暇は除く）

※ナビダイヤルは、PHS・IP電話などでご利用になれない場合があります。
TEL 0562-31-0793 をご利用ください。

●施工方法

〔ガラス棚の場合〕

1．下部固定台座を取り付ける壁の施工位置に、下穴の位置をけがきます。
　つづいて、けがき位置に下穴をあけます。
　※下穴は寸法を測定し、正確にあけてください。
2．タッピンねじまたはAYボルトで、下部固定台座を取り付けます。
　※タッピンねじまたはAYボルトは最後までしっかりとねじ込んでください。

3．下部固定台座に棚板を乗せ、上部固定台座をはめ込み、下部固定台座下側からナベ小ねじでしっかりと固定します。
　※棚板が水平に取り付いていることを確認してください。
4．落下防止バーを棚板の前端に合わせて張り付けます。
　（張付け後、1日程度養生してください）
　※FKF-1064の場合、そのまま張り付けてください。
　※FKF-1050の場合、L＝490mmの長さにカットしてください。

〔ステンレス棚の場合〕

1．下部固定台座を取り付ける壁の施工位置に、下穴の位置をけがきます。
　つづいて、けがき位置に下穴をあけます。
　※下穴は寸法を測定し、正確にあけてください。
2．タッピンねじまたはAYボルトで、下部固定台座を取り付けます。
　※タッピンねじまたはAYボルトは最後までしっかりとねじ込んでください。

3．下部固定台座の上にスペーサーを置きます。
4．スペーサーの上に棚板を乗せ、上部固定台座をはめ込み、下部固定台座下側からナベ小ねじでしっかりと固定します。
　※棚板が水平に取り付いていることを確認してください。
5．落下防止バーを棚板の前端に合わせて張り付けます。
　（張付け後、1日程度養生してください）
　※FKF-1064の場合、そのまま張り付けてください。
　※FKF-1050の場合、L＝490mmの長さにカットしてください。

〔フックの場合〕

1. 固定金具を取り付ける壁の施工位置に、上下2ヶの下穴位置をけがきます。つづいて、けがき位置に下穴をあけます。
　※下穴は寸法を測定し、正確にあけてください。
　※固定金具が傾いた状態で固定されると、施工後のフックが傾きます。固定金具の水平・垂直を確認してください。

2. タッピンねじまたは、AYボルトで固定金具を取り付けます。
　※固定金具のネジきり加工穴が上下にくるように取り付けてください。
　※タッピンねじまたはAYボルトは、最後までしっかりとねじ込んでください。
　※固定金具は上下を2本のねじで取り付けます。

3. 固定金具に小ねじでフック本体を組み付けます。
　※小ねじは、2本ともドライバーでしっかりとねじ込んでください。
　※小ねじについている橙色の緩み防止剤は、施工後はみ出た分をきれいに拭き取ってください。

〔取付ねじの種類と下穴寸法〕

	取付ねじ・ボルトの種類	下穴寸法	備　考
乾式壁の場合	タッピンねじ（φ4.1×38）	φ3.0×40㎜	付属品
湿式壁の場合	AY-21（M4×40）	φ7.5×40㎜	別売
	AY-22（M4×50）	φ7.5×50㎜	

●施工後の注意

固定台座または固定金具にガタつきがなく、しっかりと壁に固定されていることを確認してください。